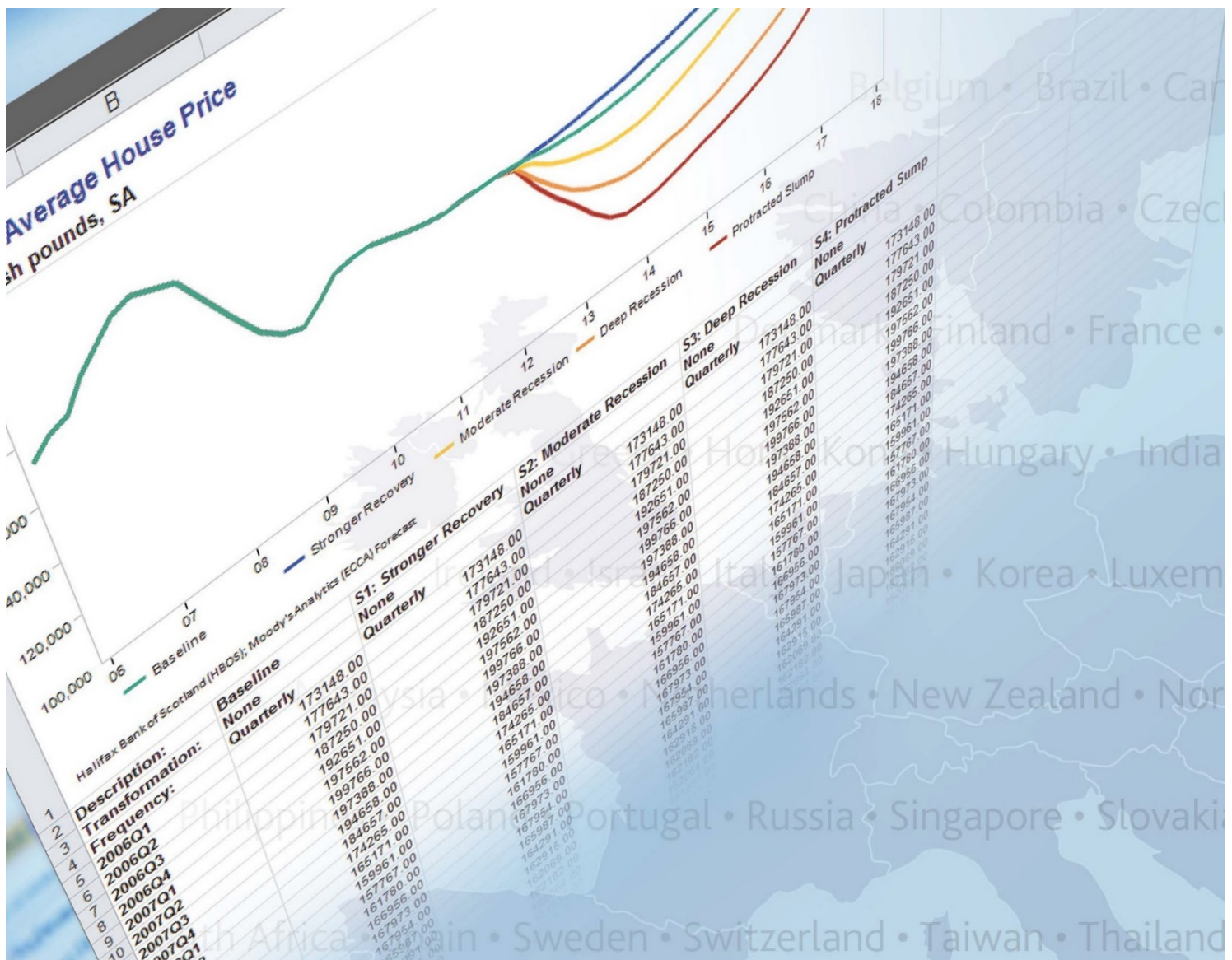


# Global Economic Forecasts With Alternative Scenarios

～ムーディーズが描くグローバルなマクロ経済予測と  
ストレスシナリオ

金融危機や様々なストレスシナリオを想定し、経済指標の動向を捕捉する



# Global Economic Forecasts With Alternative Scenarios

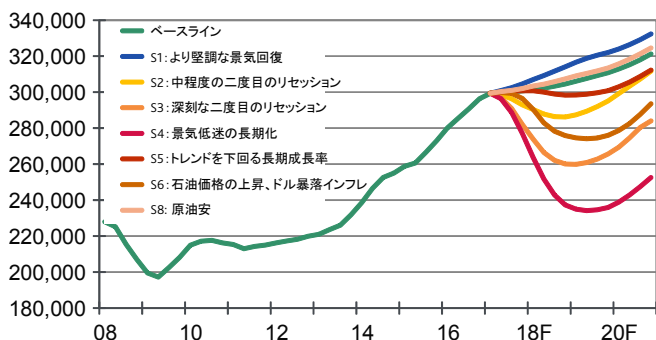
ムーディーズ・アナリティックスの Global Economic Forecasts With Alternative Scenarios は、ストレステスト、規制遵守、What-If 分析の出発点です。世界各地の 80 名以上のエコノミストと 20 名以上のデータ・スペシャリストが想定シナリオを提供します。銀行、事業会社、政府、規制当局の皆さまが、金融危機や様々な経済ストレス環境下において、皆さまのビジネスやポートフォリオに対する影響を測定することができます。

## ムーディーズ・アナリティックスが提供する標準シナリオセット

ムーディーズ・アナリティックスは、50 カ国以上を対象に、ベースシナリオと想定ストレスシナリオを提供しています。これらのシナリオは、月次で更新され、常に最新の経済データ、経済情勢およびその予測が反映されています。

### 英国平均住宅価格

(単位：ポンド、季節調整済み)

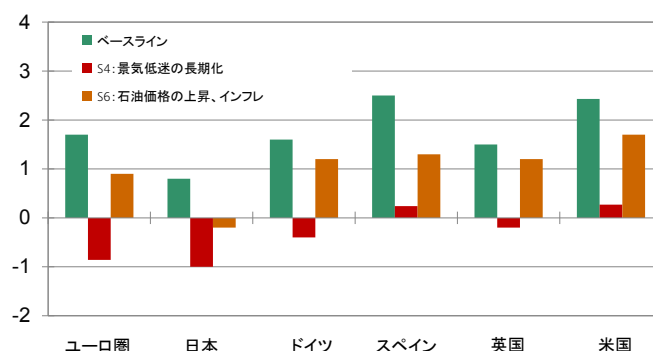


注) F: 予測

出所: ムーディーズ・アナリティックス

### 先進国市場: 2017 年の GDP 成長率

(前年比、%)



出所: 各国統計局、ムーディーズ・アナリティックス

## 規制当局の予測に基づくシナリオ

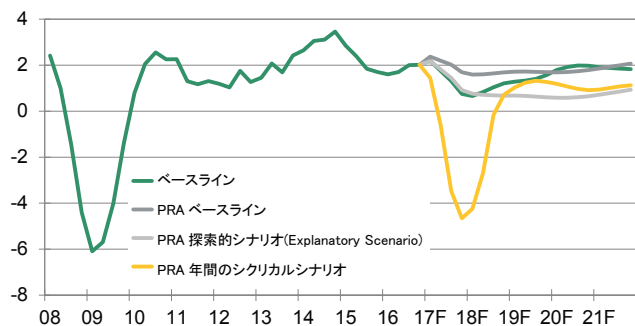
イングランド銀行 (BoE)、欧州銀行監督当局 (EBA)、欧州中央銀行 (ECB)、国際通貨基金 (IMF)、米連邦準備制度理事会 (FRB) の予測に基づく 50 カ国以上の規制当局シナリオに加え、規制当局から義務付けられている固有/カスタム・シナリオ、規制当局の提案に基づくシナリオなど、様々なシナリオを提供します。

## カスタム・シナリオ

お客さま独自のマクロ経済に対する見解や、「What-If」分析の前提条件、その他お客さまの要件に合わせてカスタマイズしたシナリオを提供します。お客さまから提供された主要なデータ/前提条件に基づき標準シナリオセットを拡張、あるいはお客さまと協働して、迅速にカスタム・シナリオを構築することができます。

### 英国健全性規制機構 (PRA) ストレス・シナリオ

実質 GDP (前年比、%)

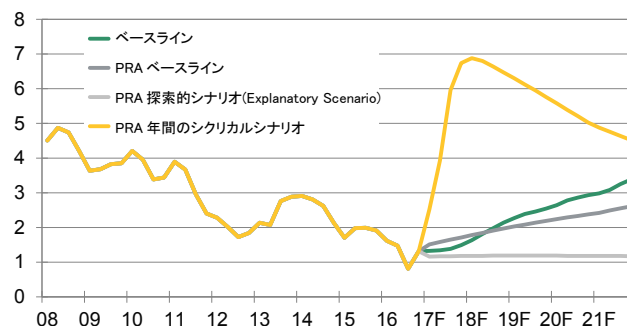


注) F: 予測

出所: ムーディーズ・アナリティックス

### 英国健全性規制機構 (PRA) ストレス・シナリオ

10 年債利回り (%)



注) F: 予測

出所: 統計局、ムーディーズ・アナリティックス

# Global Economic Forecasts With Alternative Scenarios

## 特長

- ▶ 正確でグローバル基準なデータ  
世界各地の 80 名以上の経験豊富なエコノミストが、シナリオを想定するのみならず、正確性の検証やデータ管理に関わっています。
- ▶ タイムリーなアップデート  
既製の想定シナリオセットは直近のデータや情勢を考慮し、月次で更新されます。またお客様のニーズに沿って、更新のタイミングも含めた、カスタム・シナリオを作成することも可能です。
- ▶ 幅広いカバレッジ  
GDP などの代表的な経済指標だけでなく、モデルやストレステストに関連するすべての指標を設定し、シナリオを生成することができます。
- ▶ 透明性の高いデータ、資料  
文書化されたメソドロジー、月次レポートの解説に加え、エコノミストへの照会もできるため、各シナリオの前提条件を深く理解することができます。

## 用途

- ▶ ストレステスト  
お客様のポートフォリオを対象に、包括的で透明性があり、一貫性を伴ったストレステストを実施することができます。各ストレシナリオを信用リスク、市場リスク、流動性リスクおよびオペレーショナル・リスクの計測に利用することができます。
- ▶ ビジネスプランの策定  
将来起こりうる経済予測を用いて、ビジネスやポートフォリオのパフォーマンスに与える影響を計測することができます。
- ▶ リスク管理  
リスク管理向上のため、潜在的な脆弱性を洗い出します。
- ▶ 検証とテスト  
前提条件や結果を踏まえ、内部モデルを検証できます。
- ▶ 規制と会計遵守  
完全に文書化された透明性の高いシナリオにより CCAR、DFAST、CECL、EBA、PRA や IFRS9 といった規制要件に対応することができます。

### 各規制当局のシナリオのサマリー

シナリオ		英国経済のシナリオの概要 (2017年3月)				
	シナリオ	実質GDP	住宅価格	政策金利	失業率	
PRAのシナリオ						
IMFのシナリオ	S1 より堅調な回復	2017年は+1.8%、 2018年は+1.7%	2017年は+5%、 2018年は+4%	2019年初まで0.25%で 据え置き	2018年は4.5%	
EBAのストレステストシナリオ	BL ベースライン	2017年は+1.5%、 2018年は+1%	2017年に+4%、 2018年に+1%	2019年央まで0.25%で 据え置き	2018年は5.5%	
FRBのCCAR	S2 中程度のリセッション	2017年は+0.8%、 2018年は+0.3%	2017年は+2%、 2018年は-3%	2017年央までに0%に 利下げ、2020年まで 同水準で据え置き	2018年に6.5%前後で ピークに到達	
	S3 深刻なリセッション	2017年は+0.4%、 2018年は-1.7%	2017年は+1%、 2018年は-9%	2017年央までに0%に 利下げ、2021年まで 同水準で据え置き	2018年に8%前後で ピークに到達	
	S4 景気低迷の長期化	2017年は-0.2%、 2018年は-3%	2017年は-0.5%、 2018年は-14%	2017年央までに0%に 利下げ、2022年まで 同水準で据え置き	2019年に9%前後で ピークに到達	
	PRAストレステストシナリオ	2017年は-1.6%、 2018年は-1.8%	2017年は-3%、 2018年は-15%	2018年までに4%に 利上げ、2020年央まで 同水準で据え置き	2018年に9.5%で ピークに到達	

50 を超える国や主要地域を網羅し、月次で更新。規制当局のシナリオとカスタム・シナリオには、シナリオの背景にある前提条件の概略が記載されます。

想定シナリオを利用することにより、金融危機時の影響やエクスポージャー脆弱性を正しく評価し、戦略的なビジネスプランを策定

# Global Economic Forecasts With Alternative Scenarios

## 主な機能

### ≫ 主要国/地域を網羅

#### 国/地域

アルゼンチン	コロンビア	ハンガリー	レバノン	フィリピン	南アフリカ	アラブ首長国連邦
オーストラリア	チェコ	インド	ルクセンブルグ	ポーランド	スペイン	米国
オーストリア	デンマーク	インドネシア	マレーシア	ポルトガル	スウェーデン	ウルグアイ
ベルギー	フィンランド	アイルランド	メキシコ	ロシア	スイス	ベネズエラ
ブラジル	フランス	イスラエル	オランダ	サウジアラビア	台湾	
カナダ	ドイツ	イタリア	ニュージーランド	シンガポール	タイ	
チリ	ギリシャ	日本	ノルウェー	スロバキア	トルコ	
中国	香港	韓国	ペルー	スロベニア	英国	

#### 地域/グループ

アジア太平洋	先進国アジア	ユーロ圏	中南米/カリブ諸国	OECD
アセアン 5 カ国	開発途上国アジア	欧州	北米	南米
アジア	東欧	欧州連合	オセアニア	グローバル

### ≫ 以下の主要なマクロ経済概念を網羅

国民経済計算(生産高)	経常収支	政府	労働力調査
一実質と名目	人口統計	所得	物価
自国通貨建てと米ドル建て	雇用統計	工業生産高	不動産
	対外貿易	金利および為替レート	小売売上

### ≫ 30年という超長期の予測対象期間

### ≫ 月次更新

### ≫ 想定シナリオの前提条件に関する詳細な説明

## メソドロジー

ムーディーズ・アナリティックスの想定シナリオの生成は、ベースシナリオの生成から始まります。ベースシナリオは、現在の経済状況と当社の将来の経済方向性の見解を踏まえた「最も可能性の高い結果」です。ベースシナリオを出発点として、確率分布に従って乱数を発生させ、複数のシミュレーションを実行することにより、ムーディーズ・アナリティックスの基本的な想定ストレスシナリオを描きます。その後、当社の見解などを踏まえ、想定ストレスシナリオを調整します。

一部のシナリオはシクリカル、つまり現在の景気循環のみを考慮し、その国の長期成長率がベースシナリオを同様のシナリオです。その他のシナリオは原則的にベースシナリオとは異なった長期成長率を適用します。それぞれの想定ストレスシナリオについて、ベースシナリオに対する変動要因を含んだ説明資料を提供します。経済予測は、経済状況の変化に伴い、長期的に変化します。当社の経済予測のアプローチには、以下のようなものがあります。

### ≫ 総合的な需給の構成要素を考慮した動的な計算式

### ≫ モデルの信頼性や正確な経済予測提供のために四半期毎または月次でモデルを再評価

### ≫ 時系列およびパネル・データ分析を考慮した計量経済学的手法

### ≫ モンテカルロ・シミュレーションを利用し、メジアン/ベースライン予測からの偏差を生成、実証的な確率分布を作成

#### ご連絡先

ムーディーズ・アナリティックスの製品についての詳細は、下記までお問い合わせください。

ムーディーズ・アナリティックス・ジャパン株式会社  
〒105-6220 東京都港区愛宕 2-5-1 愛宕グリーンヒルズ MORI タワー20 階  
電話: 03-5408-4100 メールアドレス: clientservices.japan@moodys.com

米国/カナダ  
+1.866.275.3266

EMEA  
+44.20.7772.5454

アジア太平洋  
+852.3551.3077

その他  
+1.610.235.5299

Eメール: help@economy.com  
ウェブサイト: www.economy.com

Copyright © 2017, Moody's Analytics, Inc. 無断複写・転載を禁じます。